

## 第 109 回番組審議会議事録

(株) 中国コミュニケーションネットワーク

■ 開催日 令和4年10月13日(木) 11:00~12:00

■ 開催場所 中国経済クラブ(中国新聞社8階)

■ 出席者

① 委員側

・ 出席委員 7人

木谷 健(比治山学園理事長)

中川 元慧(浄土真宗本願寺派善正寺住職)

中山 正剛(広島大学スポーツセンター特任教授)

中川 圭(乳がん患者友の会きらら理事長)

吉田 朋子(和奏光夜実行委員会代表)

向井 良(弁護士)

片山 学(中国新聞社文化担当部長)

② 会社側

社長兼放送局長

小見山 文男

営業担当

久保田 正明

制作担当

渡邊 康美

■ 議題

- ・ 開会あいさつ
- ・ 番組試聴「よしもと広島ぶちラジオ」
- ・ 番組の意見、感想
- ・ 訂正や苦情の報告と前回以降の業務報告

◆ 番組試聴「よしもと広島のぶちラジオ」(9月21日放送分)

毎週水曜日の「朝ラジ!」で続く長寿コーナー番組(10分程度)。ゲストのよしもと広島の芸人がパーソナリティーのはっぴーとイベント情報を紹介したり、ネタを披露したりしています。21日放送の出演は「メンバー」。

<番組に対する委員の意見・感想>

- ・ 芸人の知らない面を聞くことができたなら面白いと思う。ネタの時間をどのくらい確保するのは難しいはずだが、出演者の芸を多くの人に知ってもらえる絶好の機会だ。広島に「よしもと」があることを知ってもらえる好機でもある。

- ・ お笑い芸人は賢い人が多く、会話の間が独特で話が耳にスッと入ってくる。芸人をここまで露出させる番組として、10年近く続けてこられたのはリスナーの熱い支持があるからだろう。
- ・ 出演者の発声がしっかりしていて聞きやすいのが第一印象だ。ただ、吉本ならもっと楽しませてもらってもいいと思う。冒頭でネタの披露はあったが、その後は日常的な内容だった。もっとヒネリが欲しかった。
- ・ 50年前、よく吉本の花月に通ったが、どの芸人もアクが強かった。この番組のメンバーはスマートな印象を受けた。世の中が変わったのかもしれないが、もう少し強烈さがあってもいい。
- ・ 朝の番組なので、元気良すぎず、心地よい感じなのが聞きやすい。時間帯にマッチしている。反面、もっと吉本色を打ち出せれば、リスナーの耳に強い印象が残るはずだ。
- ◆ 訂正や苦情の報告、前回以降の業務報告
- ・ 訂正やリスナーから番組に関する苦情はありませんでした。
- ・ 9月25日(日)に文化放送が制作するポートルースの特別番組を中国放送と連携して放送しました。10月7日(金)、「厳島観月能」を企画運営しました。

以上